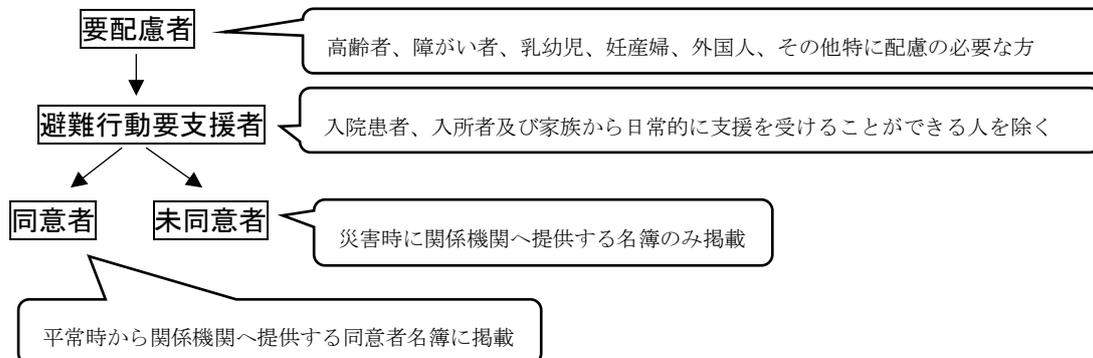
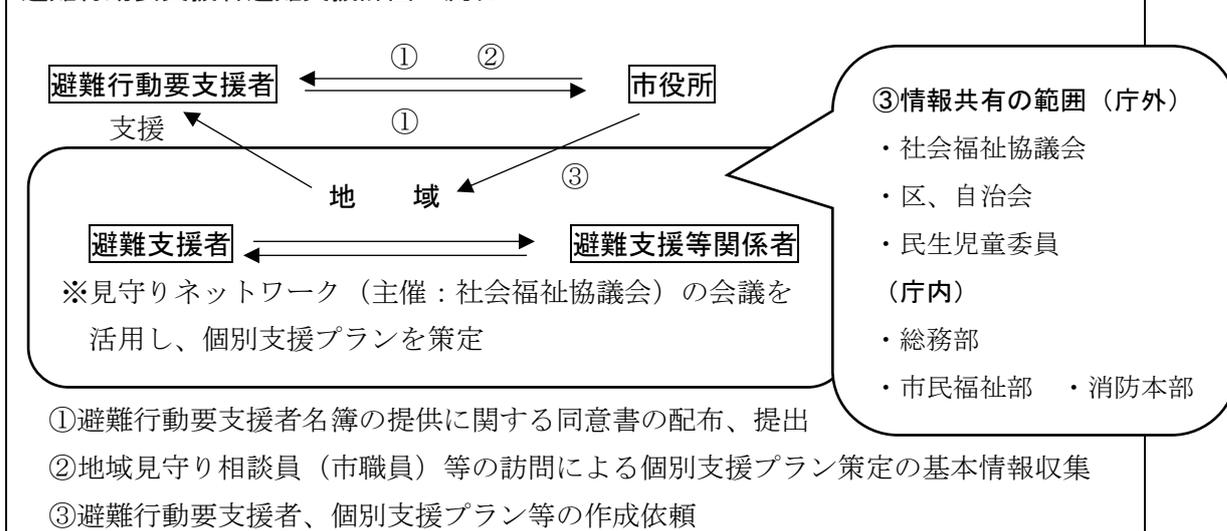


## 飛騨市における要電源重度障がい児者災害時等の支援施策

## ○飛騨市避難行動要支援者支援計画（平成 30 年 4 月策定 令和 2 年 4 月改定）



## 避難行動要支援者避難支援計画の流れ



## ○医療的ケア児者等の実態把握

## ①重症心身・医療的ケア部会（H30 設置）

対象者の特定 → 重症心身・医療的ケア児者名簿作成

活動：災害時等の対応 → 私のサポートノート

人工呼吸器 → 停電時の対応（電力会社、福祉避難所の調査等）

## ②重症心身障がい児者（避難行動要支援者）へのリスク調査（H31～R2）

リスク 1（高いリスクがあり、緊急度が高い） → 私のサポートノート作成

地域生活支援システムの必要性 → ケアマネージャーや見守りネットワーク等と協働

## ③日常的に行う要電源者の把握

地域包括ケア課 → ケアマネージャー

重症心身・医療的ケア部会 → 医療機器の種類や内部・予備バッテリーの駆動時間、予備バッテリーの有無等

全福祉避難所に発電機設置  
福祉施設に大型自家発電機設置重心、医ケア  
以外の人にも

## ○私のサポートノート

### ①目的

家族に対して

- ・安心安全に避難
- ・あらかじめ災害時の避難等を想定し、事前に準備しておく
- ・避難する福祉避難所を事前登録しておく

支援者に対して

- ・本人に誰かの助けが必要な時、どんなことに気をつけてほしいか周知する

避難所に対して

- ・避難先に登録された福祉避難所への情報共有  
(避難方法が自宅待機の場合、その旨を地域の人に周知する)

### ②作成までの流れ

- ・訪問による情報を聞取、様式に入力
- ・家族等による入力内容の確認
- ・避難する福祉避難所を選択、登録
- ・ラミネート加工、配布

＜聞取、作成職員＞

看護師・医療的ケア児者コーディネーター  
の2名による訪問体制  
(場合によってはOTも)

### ③作成状況

- ・作成済数・・・8名（重症心身障がい児者、医療的ケア児者）
- ・8名のうち、避難先福祉避難所を事前登録している者・・・4名
- ・配布先：家族、避難先に登録された福祉避難所、地域包括ケア課等

### ④その他

個人の特定を考慮し、様々な情報を記載

例) ★必要な医療的ケア等

気管内吸引は起床時・食後・就寝前の5～6回 朝夜、ネブライザーで薬を吸入

★安全な移動方法及び注意事項

知らない人、男性は怖がる だっこは縦抱っこ

★移動する際のポイント

体を起こすときはコルセット着用が必須

移動の際は必ず声掛けをし、トントンと合図してから抱っこ

★安楽な姿勢・・・写真を貼付して分かりやすいように

寝返りなどして自分で楽な姿勢をとれので固定しない

ひざ下にクッション ボールプールの中が落ちつく

★意思疎通

声掛けの理解は不明だが、気分がよくない時は泣いたりぐずる

声掛けすると「はい」といえるが、体調や機分の悪さの訴え不可